

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称	ホタル・トウキョウサンショウウオ飼育事業費 [ホタル・トウキョウサンショウウオ飼育事業]											
予算科目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	7	環境保全費	事業番号	4	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）											
担当部署・課長名	環境対策(環境) 課 環境公害 係					課長名		梶川 義夫				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		4 - 8		
【施策名】 環境の保全								総合計画書 (ページ)		99		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	市民					→ 人口 85,294人（令和3年4月1日時点）						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
	（ホタル）飼育したホタルの幼虫を野火止用水のせせらぎに放つことによって、ホタルが用水に定着し、自然に繁殖し、市民に親しまれる自然環境の場となるようにする。 （トウキョウサンショウウオ）絶滅危惧種に指定されたトウキョウサンショウウオが絶滅しないように飼育、保存する。					（ホタル）観察されたホタルの数 → （トウキョウサンショウウオ）放流したトウキョウサンショウウオの成体数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
	（ホタル）野火止用水のせせらぎにおいて、ホタルが生息できる環境を目指すため、室内及びせせらぎでホタルの飼育増殖を行った。また、せせらぎは日陰が多く、ホタルの生育には好ましくないため、常に下草刈り、剪定等を進め、最も適した環境となるよう整備に努めた。 （トウキョウサンショウウオ）トウキョウサンショウウオを飼育し、生体の研究をする					（ホタル）放流したホタルの幼虫数 → （トウキョウサンショウウオ）トウキョウサンショウウオの飼育数						
			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
3 経費	対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294						
	成果指標	②の数値	匹	0	36	0 58						
	目 標	②の目標値	匹	50	50	50 60	50		50			
		目標値設定の考え方										
		（ホタル）極力、自然の状態でホタルが生息できるようにする。 （トウキョウサンショウウオ）絶滅させず、将来的にも生息地として残せるよう努める										
	活動指標	③の数値	匹	66	345	0 113						
3 経費	事業費（実績）		円	752,672	746,984	785,210	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000 円 時間単価は、4,200 円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）					
	財源	一般財源	円	752,672	746,984	785,210						
		特定財源	円	0	0	0						
		（うち受益者負担）	円	0	0	0						
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	時間	50.0	0.0	0.0						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.5	0.5						
		職員人件費(再任用以外)	円	215,000	0	0						
		職員人件費(再任用)	円	0	1,517,500	1,510,000						
事業費+人件費		円	967,672	2,264,484	2,295,210							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成5 年度									
	(2) 環境の変化		この事業は専門性が高いことから、専門知識のある作業専従者に委託し、継続事業としている。令和2年度から市職員も事業に直接関わっている。 近年は、より自然環境の重要性が問われており、国も生物多様性の問題について法整備を進められ、市町村の係わり方が重要視されている。									

事業名称	ホタル・トウキョウサンショウウオ飼育事業費 [ホタル・トウキョウサンショウウオ飼育事業]				
担当部署・課長名	環境対策(環境)	課	環境公害	係	課長名 梶川 義夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について (ホタル) ホタルの里づくりは、市議会からも要望が出されてきた経緯がある。 令和3年度はヒルが大発生したことから、せせらぎに放流できるまでの数が育たなかった。このため、ホタルが見れなく残念がる市民の声が非常に多く、関心度が高いことが伺われる。せせらぎをいつもきれいにしているのと、せせらぎを散歩している多くの方からお礼の言葉を頂いている。 (トウキョウサンショウウオ) 令和2年10月の台風により生息地が土砂崩れで崩壊したため、多数の市民から生息が危ぶまれる意見が多数寄せられた。				
6 市民協働	(1) この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	☒ 取り組んだ	取組手法： ③事業協力 ⑥情報提供・情報交換			
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ③事業協力 ④事業委託 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：直接伝える) ⑧その他(ホタルの卵を提供してもらった。ホタルの餌となる貝を提供した。)			
	(2) 令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 (ホタル) 湖畔ピオトープを管理している、ピオトープの会がホタルの飼育に力を入れ出したことから、ホタル幼虫の餌になるカワニナやヒラマキガイ等の提供や情報交換をしながら、ホタルが定着できるよう飼育の研究をしていきたい。 (トウキョウサンショウウオ) 引き続き市内小学校での飼育が出来るよう、卵の発見に全力を尽くしたい。 東大和雑木林の会から飼育にかかわりたいとの申し出があり、どのような協力が頂けるか検討したい。				
7 課題	(1) 令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) (ホタル) ホタル水槽内にヒル、ブラナリを大量発生させず、毎年、せせらぎに幼虫を放流できるようにする。 (トウキョウサンショウウオ) 1匹でも多くの生体を生息地に帰せるように飼育に力を注いだ。また、絶滅させない方法を検討した。さらにサンショウウオが産卵できる池を市民の協力を頂いて新たに作った。				
	(2) (1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 (ホタル) ホタル水槽内にヒル、ブラナリアが大量に発生していないか常に監視した。また、水槽を5セット用意して飼育を分散した。 (トウキョウサンショウウオ) 成体を放流するのみでなく、成体を飼育し、繁殖させる試みを始めた。				
	(3) (2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
	ホタル、サンショウウオ共に自然の生き物であり、今後とも飼育には細心の注意がはらっていききたい。また、他にサンショウウオの生息地があるか情報を集めたい。				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
	施策名： 環境の保全 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)				
9 今後の方向性	(1) 仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止				
	【取組内容】 (ホタル) ホタルの生息地を野火止用水のみならず、新たな場所の検討をしていきたい。 (トウキョウサンショウウオ) 絶滅することは絶対に避けなければならない。新たな生息地を探すのみではなく、成体を飼育し、繁殖させる研究をしていきたい。				
	(2) 上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				